

## 鎌倉市子ども・子育てきらきらプランの 改訂に向けた調査 ご協力のお願い

皆さまには日頃から市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、鎌倉市では、「子どもが健やかに育つまち 子育ての喜びが実感できるまち 子育て支援を通してともに育つまち・鎌倉」を基本理念とした「鎌倉市子ども・子育てきらきらプラン（平成27～31年度）」を策定し、子ども・子育てに関する施策や事業を推進しています。このたび、次期計画を策定するにあたって、市民の皆様の子育てに対する実態やご意見、ご要望などを反映するためニーズ調査を実施することとなりました。

今回の調査では、平成30年10月1日現在の住民基本台帳から就学前のお子さんを無作為に抽出し、保護者の皆さまにご協力をお願いするものです。ご回答いただいた調査内容は、市や県や国の子ども・子育て支援施策の検討にのみ利用させていただくものであり、回答者個人が特定されたり他の目的に利用されたりすることは一切ございません。

なお、調査票の発送、回収等業務につきましては、鎌倉市から株式会社名豊に委託し実施しております。

調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成30年12月

鎌倉市長 松尾 崇

### 【ご記入にあたってのお願い】

調査票は、お子さんの保護者の方が記入してください。  
(無記名ですので、氏名・住所の記入の必要はありません)

ご記入が済みましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて、

**12月25日(火)**までにご投函ください。

### 【ご記入いただきました情報等の取り扱いについて】

1. 送付に使用したあて名情報及びご記入いただきました調査票は、鎌倉市及び株式会社名豊が取り扱い、十分な情報管理体制のもとで、情報漏えいや紛失がないよう適切に取り扱います。
2. ご回答につきましては、本調査の分析のために統計的に処理し、事業の目的以外に使用することはございません。

ご回答いただくうえでご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。

鎌倉市こどもみらい部こども支援課 西村・蔵並

電話：0467-61-3891 ファクス：0467-23-8700（代表）

E-Mail：mirai@city.kamakura.kanagawa.jp

この調査は鎌倉市の今後の子育て支援施策を検討するに当たり  
重要な調査となります。  
ご回答をよろしくお願いいたします。

ご回答に当たってお読みください

鎌倉市では、子ども・子育て支援法（平成 24 年法律第 65 号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、平成 27 年度から 5 年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施しています。

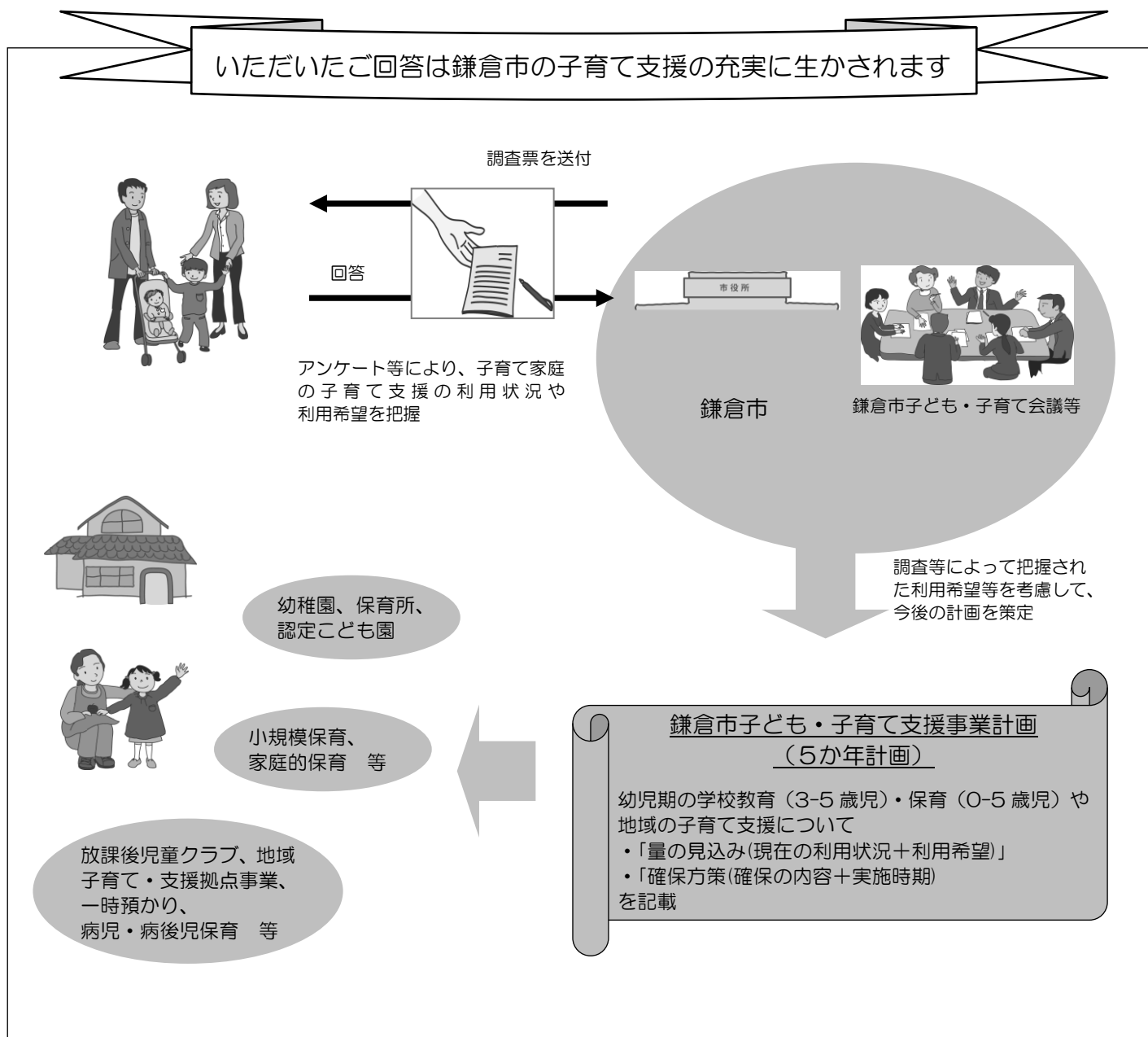
本調査は、平成 32 年度からの次期計画に向けて、計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を鎌倉市が算出するため、住民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

なお、ここでご回答いただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。

また、この制度は、以下のような考え方に基づいています。

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかげがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。  
地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるよう支援を目指しています。

いただいたご回答は鎌倉市の子育て支援の充実に生かされます



(用語の定義)

この調査票における用語の定義は以下のとおり

- ・ 幼 稚 園：学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設  
(学校教育法第22条)
- ・ 保 育 所：児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設  
(児童福祉法第39条)
- ・ 認定こども園：幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設(就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項)
- ・ 子 育 て：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- ・ 教 育：問17までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問18以降においては幼児期の学校における教育(幼稚園・認定こども園)の意味で用いています

## お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地域をお知らせください。(あてはまる番号1つに○)

1. 鎌倉 (十二所、二階堂、西御門、雪ノ下、扇ガ谷、小町、大町、材木座、由比ガ浜、御成町、笹目町、佐助、長谷、坂ノ下、極楽寺、稲村ガ崎、浄明寺)
2. 腰越 (腰越、津、西鎌倉、七里ガ浜東、津西、七里ガ浜)
3. 深沢 (梶原、寺分、山崎、上町屋、手広、常盤、鎌倉山、笛田)
4. 大船 (山ノ内、台(一丁目を除く)、小袋谷、大船、岩瀬、今泉、今泉台、高野)
5. 玉縄 (台一丁目、岡本、玉縄、植木、城廻、関谷)

## 封筒の宛名のお子さんをご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。(口内に数字で記入 [数字は一枠に一字])

平成   年   月生まれ

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。(宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字で記入、お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月を記入[数字は一枠に一字])

きょうだい数  人 末子の生年月 平成   年   月生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(あてはまる番号1つに○)

1. 母親                                  2. 父親                                  3. その他 (                                  )

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(あてはまる番号1つに○)

1. 配偶者がいる                                  2. 配偶者はいない

問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(あてはまる番号1つに○)

1. 父母ともに      2. 主に母親      3. 主に父親      4. 主に祖父母      5. その他 (                                  )

## 子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問7 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に、影響すると思われる環境をお知らせください。(あてはまる番号すべてに○)

1. 家庭      2. 地域      3. 幼稚園      4. 保育所      5. 認定こども園  
6. その他 (                                  )

**問8 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(あてはまる番号すべてに○)**

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	} ⇒ 問8-1へ
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	} ⇒ 問8-2へ
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	
5. いずれもない ⇒ 問8-3へ	

**問8-1 問8で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(あてはまる番号すべてに○)**

1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	} ⇒ 問8-3へ
2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である	
3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である	
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	
6. その他( )	

**問8-2 問8で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(あてはまる番号すべてに○)**

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	} ⇒ 問8-3へ
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である	
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である	
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	
6. その他( )	

**問8-3 祖父母等の親族又は友人・知人に子どもをみてもらいやすくするためには、どのような仕組みがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。**

(祖父母等の親族の場合)	(友人・知人の場合)
--------------	------------

**問9 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。(あてはまる番号1つに○)**

1. いる/ある ⇒ 問9-1へ
2. いない/ない ⇒ 5ページ 問10へ

**問9-1 問9で「1. いる/ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。(あてはまる番号すべてに○)**

1. 祖父母等の親族	6. 保育士
2. 友人や知人	7. 幼稚園教諭
3. 近所の人	8. 民生委員・児童委員
4. 子育て支援施設(子育て支援センター、つどいの広場、子ども会館等)・NPO	9. かかりつけの医師
5. 保健師(市・県保健所)	10. 市役所(子育て関連担当窓口)
	11. その他( )



問 14 子育て支援サービスや幼稚園・保育所の利用方法、各種手当の申請方法など、子育てに関する情報を誰から、あるいはどこで入手していますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 祖父母等の親族	7. 幼稚園教諭
2. 友人や知人	8. 民生委員・児童委員
3. 近所の人	9. かかりつけの医師
4. 子育て支援施設(子育て支援センター、 つどいの広場、子ども会館等)・NPO	10. 市役所(子育て関連担当窓口)
5. 保健師(市・県保健所)	11. インターネット
6. 保育士	12. その他( )
	13. どこで入手すればよいかわからない

## 宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問 15 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。

(①母親【父子家庭の場合は記入は不要】、②父親【母子家庭の場合は記入は不要】それぞれ、あてはまる番号1つに○)

①母親	②父親	選択肢	
1	1	フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	⇒ 問 15-1 問 15-2 へ
2	2	フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	
3	3	パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	
4	4	パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	
5	5	以前は就労していたが、現在は就労していない	⇒ 7ページ 問 17 へ
6	6	これまで就労したことがない	

問15-1 問15で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(それぞれ、口内に数字で記入[数字は一桁に一字])

①母親		②父親	
1週当たり	<input type="text"/> 日	1週当たり	<input type="text"/> 日
1日当たり	<input type="text"/> 時間	1日当たり	<input type="text"/> 時間

※30分未満切り捨て、30分以上切り上げ 例：7時間29分 ⇒ 7時間

問15-2 問15で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)08時~18時のように、24時間制でお答えください。(それぞれ、口内に数字で記入[数字は一桁に一字])

(1) 母親		(2) 父親	
家を出る時刻	<input type="text"/> 時	家を出る時刻	<input type="text"/> 時
帰宅時刻	<input type="text"/> 時	帰宅時刻	<input type="text"/> 時

※30分未満切り捨て、30分以上切り上げ 例：7時30分 ⇒ 8時

問 16 問 15 で「3.4.」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、8 ページ問 18 へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。（あてはまる番号 1 つに○）

①母親	②父親	選択肢
1	1	フルタイム（1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
2	2	フルタイム（1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3	3	パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
4	4	パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

問 17 問 15 で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、8 ページ問 18 へお進みください。

就労したいという希望はありますか。

（あてはまる番号・記号それぞれ 1 つに○をつけ、該当する口内には数字を記入[数字は一桁に一字]）

①母親	②父親
1. 子育てや家事などに専念したい （就労の予定はない） 2. 1 年より先、一番下の子どもが <input type="text"/> <input type="text"/> 歳になったところに就労したい 3. すぐにでも、もしくは 1 年以内に就労したい →希望する就労形態 ア. フルタイム（1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労） イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外） →1 週当たり <input type="text"/> 日 1 日当たり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間	1. 子育てや家事などに専念したい （就労の予定はない） 2. 1 年より先、一番下の子どもが <input type="text"/> <input type="text"/> 歳になったところに就労したい 3. すぐにでも、もしくは 1 年以内に就労したい →希望する就労形態 ア. フルタイム（1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労） イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外） →1 週当たり <input type="text"/> 日 1 日当たり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間









## 宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問20 宛名のお子さんは、現在、「子育て支援センター」や「つどいの広場」（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場）を利用していますか。

（あてはまる番号1つに○をつけ、おおよその利用回数(頻度)を口内に数字で記入[数字は一桁に一字]）

1. 利用している

1週当たり  回 もしくは 1ヶ月当たり  回程度

2. 利用していない

問21 問20のような事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。（あてはまる番号1つに○をつけ、おおよその利用回数(頻度)を口内に数字で記入[数字は一桁に一字]）

1. 利用していないが、今後利用したい

1週当たり  回 もしくは 1ヶ月当たり  回程度

2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい

1週当たり 更に  回 もしくは 1ヶ月当たり 更に  回程度

3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたりしたいとは思わない

問22 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。（①～⑪の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のどちらかに○）

	A 知っている	B これまでに利用 したことがある	C 今後利用したい
①両親学級 (こんにちは、あかちゃん教室(遊び場デビュークラス含む))	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
②育児教室(まんま♡る〜び、いい歯にっこりスクール)	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
③乳幼児健康相談 (抱っこdeシャベル)	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
④教育センター相談室	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
⑥こどもと家庭の相談室	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
⑦市発行の子育て支援情報誌 (かまくら子育てナビきらきら)	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
⑧かまくら子育てメディアスポット	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
⑨かまくら子育てメディアスポット ホームページ	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
⑩一日冒険遊び場	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
⑪かまくらママ&パパ's カレッジ 特別企画「親子で楽しむ♪あそびの大学」	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>

## 宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

- 問 23 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか。  
 (一時的な利用は除きます) (それぞれにつき、あてはまる番号1つに○)  
 希望がある場合は、利用したい時間帯をお知らせください。(例) 09時～18時のように24時間制で記入[数字は一桁に一字])  
 なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。  
 ※教育・保育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指し、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない 2. ほぼ毎週利用したい 3. 月に1～2回は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯 □ □ 時から □ □ 時まで
---	-----	-----------------------------

(2) 日曜・祝日

1. 利用する必要はない 2. ほぼ毎週利用したい 3. 月に1～2回は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯 □ □ 時から □ □ 時まで
---	-----	-----------------------------

- 問 24 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。(あてはまる番号1つに○)  
 また、希望がある場合は、利用したい時間帯をお知らせください。(例) 09時～18時のように24時間制で記入[数字は一桁に一字])  
 なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する必要はない 2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい 3. 休みの期間中、週に数日利用したい	} ⇒	利用したい時間帯 □ □ 時から □ □ 時まで
--	-----	-----------------------------



問 25-4 問 25-2 で「利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由をお知らせください。（あてはまる番号すべてに○）

1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安	5. 利用料がわからない
2. 地域の事業の質に不安がある	6. 親が仕事を休んで対応する
3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない	7. その他（ ）
4. 利用料がかかる・高い	

⇒ 問 26 へ

13 ページ 問 25-1 で「ウ。」から「ク。」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 25-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。  
（あてはまる番号 1 つに○をつけ、「ウ」から「ク」の日数のうち仕事を休んで見たかった日数についても数字で記入 [数字は一桁に一字]）

1. できれば仕事を休んで看たい ⇒ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日
2. 休んで看ることは非常に難しい

## 宛名のお子さんの不規則の教育・保育事業や、 宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

問 26 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不規則の就労等の目的で不規則に利用している事業はありますか。（あてはまる番号すべてに○をつけ、1 年間の利用日数（おおよそ）も口内に数字で記入 [数字は一桁に一字]）

利用している事業・日数（年間）	
1. 一時預かり （私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日
2. 幼稚園の預かり保育 （通常の就園時間を延長預かる事業のうち不規則に利用する場合のみ）	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日
3. ファミリー・サポート・センター （地域住民が子どもを預かる事業）	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日
4. 夜間養護等事業：トワイライトステイ （児童養護施設等で一時的に子どもを養育・保護する事業）	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日
5. ベビーシッター	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日
6. その他（ ）	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日
7. 利用していない	

⇒15 ページ  
問 27 へ

問 26 で「7. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

問 26-1 現在利用していない理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 特に利用する必要がない	6. 利用料がわからない
2. 利用したい事業が地域にない	7. 自分が事業の対象者になるのかわからない
3. 地域の事業の質に不安がある	8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない
4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない	9. その他（ ）
5. 利用料がかかる・高い	

問 27 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、事業を利用する必要があると思いますか。（あてはまる番号どちらか1つに○）利用したい方は、利用目的をお答えください。（あてはまる記号すべてに○をつけ、1年間の必要な日数を、目的それぞれにつき、口内に数字で記入[数字は一枠に一字]）なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計	□ □ 日
ア. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的		□ □ 日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等		□ □ 日
ウ. 不定期の就労		□ □ 日
エ. その他（ ）		□ □ 日
2. 利用する必要はない		

問 28 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで保護者以外にみてもらわなければならないことはありましたか。預け先が見つからなかった場合も含まれます。（どちらか1つに○）

あった場合は、この1年間、どのように対処しましたか。（あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字で記入[数字は一枠に一字]）

	1年間の対処方法	日数
1. あった	ア （同居者を含む）親族・知人にみてもらった	□ □ 泊
	イ 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）	□ □ 泊
	ウ イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	□ □ 泊
	エ 仕方なく子どもを同行させた	□ □ 泊
	オ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	□ □ 泊
	カ その他（ ）	□ □ 泊
2. なかった		

⇒ 16 ページ  
問 29 へ

問 28 で「1. あった ア.(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。

⇒ア. 以外を選択した方は 16 ページ 問 29 へ

問 28-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。（あてはまる番号1つに○）

1. 非常に困難	2. どちらかというと困難	3. 特に困難ではない
----------	---------------	-------------



# 宛名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。

⇒ 5歳未満の方は、19ページ 問34へ

問29 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字で記入。また、「放課後かまくらっ子」(※1)を選択した場合には、利用を希望する時間も口内に数字で記入。時間は、必ず(例)18時のように24時間制で記入[数字は一桁に一字])

※1 放課後かまくらっ子…「アフタースクール」(※2)と「学童保育」(※3)を一体的に実施する、小学生の放課後等の居場所。国が推進する「放課後子ども総合プラン」の鎌倉市版。(平成32年度までに市立全小学校で実施予定。)

※2 「アフタースクール」…支援員の見守りがある安全安心な子どもの居場所。地域のボランティアに協力いただき、多様な活動体験も提供。

利用料	無料(年500円程度の保険料の負担あり。)		
利用時間	学校開校日	放課後～	午後5時(4月～9月) 午後4時30分(10月～3月)
	学校休校日	午前8時30分～	午後5時(4月～9月) 午後4時30分(10月～3月)
	土曜日	お休み	

※3 「学童保育」…放課後児童クラブのこと。鎌倉市では「子どもの家」として実施。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、支援員の見守りのもと、家庭的な支援を提供。

利用料	月額5,000円。延長・早朝利用料は、それぞれ月額2,300円 (同一世帯で複数名入所の場合は、それぞれ2人目以降半額)	
利用時間	学校開校日	放課後～午後6時(午後7時まで延長利用可)
	学校休校日(月～金曜日)	午前8時15分～午後6時 (午前7時15分から早朝利用可。午後7時まで延長利用可)
	学校休校日(土曜日)	午前8時30分～午後5時30分 (午前7時30分から早朝利用可。夕方延長利用不可)

## (1) 夏季(4～9月)

1. 自宅	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	
2. 祖父母宅や 友人・知人宅	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカー クラブ、学習塾など)	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	
4. 放課後かまくらっ子 を利用	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	下校時から <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 分まで { 1.アフタースクール 2.学童保育 } を利用
5. ファミリー・サポ ート・センターを利用	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	
6. その他(公民館、公 園など)	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	

「4. 放課後かまくらっ子を利用」を選択した場合は、

{ 1.アフタースクール  
2.学童保育 }  
のいずれかを選択してください。

※問30・31についても同様

(2) 冬季 (10~3月)

1. 自宅	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	
2. 祖父母宅や 友人・知人宅	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカー クラブ、学習塾など)	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	
4. 放課後かまくらっ子 を利用	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	下校時から <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 分まで { 1.アフタースクール 2.学童保育 } を利用
5. ファミリー・サポ ート・センターを利用	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	
6. その他 (公民館、公 園など)	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	

問 30 宛名のお子さんについて、小学校高学年 (4~6年生) になったら、放課後 (平日の小学校終了後) の時間  
をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日  
数を数字で記入。また、「放課後かまくらっ子」を選択した場合には利用を希望する時間も口内に数字で記入。

時間は、必ず(例) 18時 のように24時間制で記入 [数字は一枠に一字]

※だいたい先のこととなりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

(1) 夏季 (4~9月)

1. 自宅	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	
2. 祖父母宅や 友人・知人宅	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカー クラブ、学習塾など)	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	
4. 放課後かまくらっ子 を利用	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	下校時から <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 分まで { 1.アフタースクール 2.学童保育 } を利用
5. ファミリー・サポ ート・センターを利用	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	
6. その他 (公民館、公 園など)	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	

(2) 冬季 (10~3月)

1. 自宅	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	
2. 祖父母宅や 友人・知人宅	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカー クラブ、学習塾など)	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	
4. 放課後かまくらっ子 を利用	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	下校時から <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 分まで { 1.アフタースクール 2.学童保育 } を利用
5. ファミリー・サポ ート・センターを利用	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	
6. その他 (公民館、公 園など)	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	

問 31 問 29 または問 30 で「4. 放課後かまくらっ子」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日や夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間に、放課後かまくらっ子の利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかる場合があります。（(1)(2)それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけ、利用したい時間帯を、口内に(例)09時～18時 のように24時間制で記入[数字は一枠に一字]）

(1) 土曜日（アフタースクールは、お休みです。）

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	1. 毎週	<input type="text"/> <input type="text"/> 時 <input type="text"/> <input type="text"/> 分から
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	2. 月 <input type="text"/> 日くらい	<input type="text"/> <input type="text"/> 時 <input type="text"/> <input type="text"/> 分まで
3. 利用する必要はない		学童保育を利用

(2) 夏休み・春休みなどの長期の休暇期間（4～9月）

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	週 <input type="text"/> 日くらい	<input type="text"/> <input type="text"/> 時 <input type="text"/> <input type="text"/> 分	{ 1.アフタースクール 2.学童保育 } を利用
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい		から	
3. 利用する必要はない		<input type="text"/> <input type="text"/> 時 <input type="text"/> <input type="text"/> 分	まで

(3) 冬休み・春休みなどの長期の休暇期間（10～3月）

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	週 <input type="text"/> 日くらい	<input type="text"/> <input type="text"/> 時 <input type="text"/> <input type="text"/> 分	{ 1.アフタースクール 2.学童保育 } を利用
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい		から	
3. 利用する必要はない		<input type="text"/> <input type="text"/> 時 <input type="text"/> <input type="text"/> 分	まで

問 32 放課後の居場所について課題だと思うことは何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 活動する部屋が狭いなど、施設環境が十分整っているとは思えない
2. 運動できる場所が限定されていて、思いきり活動することができない
3. 体験活動の実施回数が少ない
4. 体験活動が多く、子どもが自由に過ごせない
5. 子どもが望むような体験活動が少ない
6. 高学年の子どもが、参加しやすい（参加したくなる）活動が少ない
7. 運営スタッフの目が十分に行き届いていない
8. 運営スタッフと子どもへの対応の仕方や子育てについての考え方が合わない
9. 開設時間が短い
10. 経済的負担（保険料・利用料など）がかかり過ぎる

問 33 お子さんの放課後に必要と思うものは何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 大人の見守りによる安全・安心な居場所	6. 地域との交流
2. 学びのきっかけとなる体験活動	7. 学力を高めるための学習支援
3. 自由遊び	8. 運動系の習い事
4. 宿題の支援	9. 文化系の習い事
5. 異学年や多くの児童との交流	10. 将来の職業の参考になる体験活動

**すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など  
職場の両立支援制度についてうかがいます。**

問 34 宛名のお子さんの保護者の主な勤務先についてうかがいます。

(母親、父親それぞれの主な勤務先につき、あてはまる番号 1 つに○)

①母親 (いずれかに○)	②父親 (いずれかに○)
1. 鎌倉市内 2. 鎌倉市外 3. 就労していない	1. 鎌倉市内 2. 鎌倉市外 3. 就労していない

問 35 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。

(それぞれ、あてはまる番号 1 つに○)

また、取得していない方はその理由をご記入ください。

①母親 (いずれかに○)	②父親 (いずれかに○)
1. 働いていなかった 2. 取得した (取得中である) 3. 取得していない ⇒	1. 働いていなかった 2. 取得した (取得中である) 3. 取得していない ⇒
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> <b>取得していない理由</b> (下から番号を選んでご記入ください) (いくつでも)                 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> <b>取得していない理由</b> (下から番号を選んでご記入ください) (いくつでも)                 </div>

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
  2. 仕事が忙しかった
  3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった
  4. 仕事に戻るのが難しそうだった
  5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
  6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
  7. 保育所(園)などに預けることができた
  8. 配偶者が育児休業制度を利用した
  9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
  10. 子育てや家事に専念するため退職した
  11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
  12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
  13. 育児休業を取得できることを知らなかった
  14. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した
  15. その他( )

問35-1 子どもが原則1歳(保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は2歳)になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等(法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置)期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。(あてはまる番号 1 つに○)

1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた 2. 育児休業給付のみ知っていた 3. 保険料免除のみ知っていた 4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった
--

19 ページ問 35 で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。

⇒ 該当しない方は、22 ページ 問 36 へ

問 35-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（それぞれ、あてはまる番号 1 つに○）

①母親	②父親	選択肢
1	1	育児休業取得後、職場に復帰した ⇒ 問 35-3 へ
2	2	現在も育児休業中である ⇒ 21 ページ 問 35-9 へ
3	3	育児休業中に離職した ⇒ 22 ページ 問 36 へ

問 35-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 35-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。（それぞれ、どちらか 1 つに○）

※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」にあてはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

①母親	②父親	選択肢
1	1	年度初めの入所に合わせたタイミングだった
2	2	それ以外だった

問 35-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、希望どおりでなかった場合は、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、お子さんが何歳何か月のときまで育児休業を取りたかったですか。

（それぞれ、□内に数字で記入[数字は一桁に一字]）。

①母親			②父親		
実際	□	歳 □ □ か月	実際	□	歳 □ □ か月
希望	□	歳 □ □ か月	希望	□	歳 □ □ か月

問 35-5 お勤め先の育児休業の制度が 3 年未満の方にうかがいます。

お勤め先に、育児のために 3 歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。（それぞれ、□内に数字で記入 数字は一桁に一字）

①母親			②父親		
□	歳	□ □ か月	□	歳	□ □ か月

問 35-4 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問 35-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方（それぞれ、あてはまる番号すべてに○）

①母親	②父親	選択肢
1	1	希望する保育所に入るため
2	2	配偶者や家族の希望があったため
3	3	経済的な理由で早く復帰する必要があるため
4	4	人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5	5	その他（ ）

(2) 「希望」より遅く復帰した方（それぞれ、あてはまる番号すべてに○）

①母親	②父親	選択肢
1	1	希望する保育所に入れなかったため
2	2	自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3	3	配偶者や家族の希望があったため
4	4	職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5	5	子どもをみてくれる人がいなかったため
6	6	その他（ ）

20 ページ 問 35-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 35-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。

（それぞれ、あてはまる番号 1 つに○）

①母親	②父親	選択肢
1	1	利用する必要がなかった （フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）
2	2	利用した
3	3	利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）

問 35-7 で「3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と回答した方にうかがいます。

問 35-8 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。

（それぞれ、あてはまる理由すべてに○）

①母親	②父親	選択肢
1	1	職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2	2	仕事が忙しかった
3	3	短時間勤務にすると給与が減額される
4	4	短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
5	5	配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6	6	配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた
7	7	子育てや家事に専念するため退職した
8	8	職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
9	9	短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10	10	その他（ ）

20 ページ 問 35-2 で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

問 35-9 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。

（それぞれ、どちらか 1 つに○）

①母親	②父親	選択肢
1	1	1歳になるまで育児休業を取得したい
2	2	1歳になる前に復帰したい

## その他、子育てについてのお考え等に関するお答えください。

問36 お住まいの地域（冒頭お答えいただいた鎌倉、腰越、深沢、大船、玉縄の5地域）における子育ての環境や支援への満足度についてお知らせください。（あてはまる番号1つに○）

満足度が低い	←————→	満足度が高い		
1	2	3	4	5

問37 子育てをするにあたって、地域に求めることはありますか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 子育ての相談や情報交換をしたい
2. 危険な遊びやいじめを見つけたら注意してほしい
3. 遊びの相手やスポーツを一緒にしてほしい
4. 子ども会やお祭りなど、子どもの参加できる活動や行事が増えてほしい
5. 緊急時に子どもを預かってほしい
6. 地域で子どもを見守り育てるという気持ちを持ってほしい
7. とともに子育てできるグループやサークルなどを一緒にやってみたい
8. 子育て仲間や友人が地域にいること
9. その他（ <span style="float: right;">）</span>
10. 特に求めることはない

問38 あなたは、子どもを育てている現在の生活に満足していますか。（あてはまる番号1つに○）

1. 満足している	4. どちらかといえば満足していない
2. どちらかといえば満足している	5. 満足していない
3. どちらともいえない	
〔 上記回答に理由があれば簡単にご記入ください。 〕	

問39 あなたは、鎌倉市の子育て支援策（子育て相談支援、保育園整備、小児医療費助成など）が充実していると思いますか。（あてはまる番号1つに○）

1. そう思う	4. どちらかといえばそう思わない
2. どちらかといえばそう思う	5. そう思わない
3. どちらともいえない	
〔 上記回答に理由があれば簡単にご記入ください。 〕	

**問40 子育て支援でもっと力をいれてほしいものは何ですか。(あてはまる番号5つまでに○)**

1. 子育てに関する相談・情報提供の充実
2. 保護者同士が交流できる場の充実
3. 家事や子育て等で男女がともに協力し助け合うことなどの啓発
4. 子育ての意義・大切さなどの普及・啓発
5. 保育サービスの費用負担軽減や児童手当など、子育てのための経済的支援の充実
6. 妊娠から出産におよぶ母子保健サービスの充実
7. 小児救急医療体制の充実
8. 児童虐待防止対策の推進
9. 待機児童対策の推進
10. 乳児保育、延長保育など多様なニーズにあった保育サービスの充実
11. ひとり親家庭など多様な家庭のあり方に応じた子育て支援の充実
12. 子育てボランティアなど地域で子育てを支える活動の推進
13. 学童期の子どもの放課後対策の充実
14. 地域で子どもたちが遊んだり、スポーツしたりする場や機会の充実
15. 子どもの「生きる力」を育むための活動の推進
16. 非行防止などの青少年健全育成対策の推進
17. 仕事と子育ての両立に配慮した職場環境整備についての企業への普及・啓発
18. 道路や施設などのバリアフリー化の推進
19. 子どもを事故や犯罪の被害から守るための対策の推進
20. 自然の中で遊べる機会の充実
21. その他 ( )
22. 特になし

**問 41 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。**

.....

.....

.....

.....

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。  
切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご投函ください。